

シュルレアリスム 100年映画祭

20世紀最大の芸術運動
シュルレアリスムの深遠なる世界へようこそ

SURREALISM



金で買える夢 / 皆殺しの天使 / 貝殻と僧侶 / 幕間
アンドレ・ブルトン あらゆるものにもかかわらず / 野性の目 / 2003年3月31日、オテル・ドルーオ
マックス・エルンスト 放浪と衝動 / 謎の巨匠 ルネ・マグリット / トワイヤン 真実の根源

主催・配給：トレノバ

SURREALISM

1924年10月。アンドレ・ブルトンが「シュルレアリスム宣言」を発表。

ここに20世紀最大の芸術運動がはじまる。それから100年。

その運動は、文学、絵画、映画、音楽、思想など広範な領域に影響を及ぼし、

その本質は今の時代にも受け継がれている。

シュルレアリスムとはいったい何か？

深遠なる世界を10作品7プログラムで紐解く——

シュルレアリスム 100年映画祭



公式サイト

<https://trenova.jp/surrealism100/>



Program B 皆殺しの天使

監督・脚本：ルイス・ブニュエル 出演：シルビア・ピナル、
エンリケ・ランバル、ジャクリーヌ・アンデル、ルシー・カリアルド
1962 / メキシコ / 95分 / スペイン語 / B&W / 原題：El angel exterminador



ルイス・ブニュエルのメキシコ時代の最高傑作。ある夜の晩餐会。会を終えた招待客たちは、夜が明けても帰る方法を忘れたかのように外に出ることができなくなり、遂には食料も底をつき…。人間の基本的な欲求が満たされなくなるにつれ、社会性が崩壊していく様を、解読不能なイメージを次々と登場させブラックユーモアたっぷりに描く。第15回カンヌ国際映画祭国際映画批評家連盟賞受賞。

Program E マックス・エルンスト 放浪と衝動

監督：ピーター・シャモニー 出演：マックス・エルンスト 声の出演：
ピーター・マリナー 1991 / ドイツ / 100分 / 英語、ドイツ語 / カラー /
原題：Max Ernst: Mein Vagabundieren - Meine Unruhe



シュルレアリスム絵画の理論的支柱であり、フロッターージュ等の技法を開拓した変幻自在の芸術家マックス・エルンスト。第一次大戦への出征、レオノーラ・キャリトン、ベギー・グッゲンハイムとの恋愛や別れ、迫害と亡命、ブルトンとの確執など波乱の人生を送った彼のインタビューや創作活動の映像、妻のドロテア・タニングや関係者の証言で、その革命的精神や創造的思考に迫る。

Program C ダダからシュルレアリスムへ

『幕間』監督・脚本：ルネ・クレール 脚本：フランス・ピカビア
音楽：エリック・サティ 出演：ジャン・ポラン、インゲ・フリス
1924 / フランス / 22分 / B&W / 原題：Entr'acte
『貝殻と僧侶』監督：ジュルメーヌ・デュラック 脚本：アントナン・アルト
出演：アレックス・アリオン、ルシアン・パタイユ
1928 / フランス / 39分 / B&W / 原題：La Coquille et le Clergyman



『幕間』はフランス・ピカビアのバレエ『本日休演』の幕間のために作られた、名匠ルネ・クレールのダダイズム映画。音楽は大作作曲家エリック・サティ。ピカビア、サティに加えて、マン・レイやデュシャンも出演。『貝殻と僧侶』は史上初のシュルレアリスム映画。性的な欲望に取りつかれていく僧侶の妄想を描く。脚本は詩人アントナン・アルト。ダダからシュルレアリスムに至る2本。

Program F 謎の巨匠 ルネ・マグリット

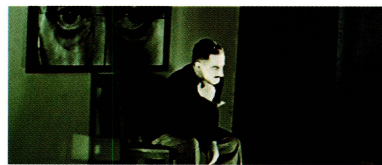
監督：ファブリス・マゼ 出演：ルネ・マグリット、ジャック・ロワザン
2023 / フランス / 139分 / フランス語 / カラー /
原題：René Magritte, le maître du Mystère



「言葉とイメージ」の関係を探求し、絵画に哲学的要素を取り入れたルネ・マグリット。従来の美術の範疇にとどまらず、ポップアートやコンセプチュアルアート、広告デザイン、思想家などにも大きな影響を与えた。本作は、幼少期からデ・キリコの絵との出会い、シュルレアリストとの交流、戦後の新たな活動まで、作風を移行させながら独自の世界を築いた、彼のユーモア溢れる複雑な個性に迫る。

Program A 金で買える夢

監督・脚本・編集：ハンス・リヒター 原案：マックス・エルンスト、
マン・レイ、マルセル・デュシャン 出演：ジャック・ピットナー
1947 / アメリカ / 80分 / 英語 / カラー / 原題：Dreams That Money Can Buy



シュルレアリスムや前衛芸術のスターたちが競い合った伝説的作品。人の脳内が見える能力を得た男が、不満や不安を抱える人々を相手にした“夢”のビジネスをはじめが…。夢のパートは、マックス・エルンスト、フェルナン・レジェ、マン・レイ、マルセル・デュシャン、アレクサンダー・カルダー、ハンス・リヒターが原案を創作。ジョン・ケージやポール・ボウルズも音楽に参加。

Program D アンドレ・ブルトンドキュメンタリー集

監督：ファブリス・マゼ 2003 / フランス / 63分 (27分、25分、11分) /
フランス語 / カラー / 原題：André Breton malgré tout /
L'oeil à l'état sauvage / Hôtel Drouot, March 31st 2003



シュルレアリスムを主導した詩人・作家であるブルトンの活動の軌跡を追った『アンドレ・ブルトン あらゆるものにもかかわらず』。伝説のアトリエの映像と肉声で彼が追求したものに迫る『野性の目』、彼が愛した収集品の散逸前の全貌を記録した映像『2003年3月31日、オテル・ドルーオ』。ブルトンの思考、思想を深掘りする3つのドキュメンタリーを集めたプログラム。

Program G トワイヤン 真実の根源

監督：ジュリアン・フェランドゥ、ドミニク・フェランドゥ
出演：アニー・ル・ブラン、アンナ・ブラウドワ 2015 / フランス・チェコ /
93分 / フランス語 / カラー / 原題：Toyen, the origin of truth



チェコの近代絵画を牽引したトワイヤン。その通称は仏語で「市民」を意味する“citoyen”に由来する。人一倍の好奇心と探究心を持つ彼女は、大戦や共産党政権の台頭など激動の時代の中、独自の表現方法を切り拓いた。娯楽のスケッチから始まる画家の道、インジフ・シュティルスキーとの協業、「人工主義」の標榜、エロティシズムへの傾倒など、その人生と表現を丹念に掘り下げていく。

